



ジャンボ通信Vol. 10

2006.4.4

ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾2000 編集：ジャンボ環境塾
 住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
 なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
 URL: <http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
 E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
 メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

2006年「もっともっと環境塾2000」総会!!!

ジャンボ!!!みなさま、お元気ですか。

さて、今回はまもなく開催される2006年総会のご案内です。昨年度の活動を振り返り、今後の活動の方向を話し合いたいと思います。また、愛・地球博報告会も予定しています。

お忙しいかとは思いますが、多数の方の参加をお待ちしております。

日時：5月7日(日) 13:30~16:30

場所：なごやボランティアNPOセンター 集会室 (伏見ライフプラザ12階)

(お手数ですが、別紙の返信用紙を期日までに郵送・FAXしてください。MAILも可。)

元愛・地球博パビリオン館長が語る 愛・地球博報告会 5月7日(日)

2005年の185日間、来場者が2200万人を超えた愛・地球博。そのメッセージは様々な形となって発信されました。来場者・参加者だけでなく多くの人々の心に何かを残したことでしょ。

その万博に3年9ヶ月も関わった元パビリオン館長のM氏がその思い出を語ります。舞台裏に関わった人しか知り得ない裏話も聞けるかもしれませんよ。お楽しみに!!!

活動実績 2005年12月~

- 2006/3/26(日).....3月 定例会
- 2006/3/18(土).....キッズISO 環境サポーター交流会
- 2006/2/22(水).....キッズISO プログラム「地球温暖化」 天白区平針原保育園
- 2006/2/18(土).....2月 定例会
- 2006/2/11(土).....アイセックのイベント 外部講師参加
名古屋市立大学山の畑キャンパス
- 2006/2/10(金).....「カンちゃんのダメダメ日記」 西区庄内小
- 2006/1/14(土).....1月 定例会
なごや環境塾2005 第9回講座 プログラム報告会 参加
- 2006/1/4(水).....エコパルなごや 企画展示撤収・ほのか小パネル返却
- 2005/12/24(土).....12月 定例会
「カンちゃんのダメダメ日記」エコパルなごや特別ワークショップ
- 2005/12/6(火).....キッズISO プログラム「地球温暖化」 港区茶屋保育園
- 2005/12月中.....エコパルなごや開館10周年記念 なごや環境塾修了生 企画展示



下の文は、私が当初『なごや環境塾』に申し込みした時の応募文の原文です。

『なごや環境塾』の応募の動機について

学区保健委員会・委員長としてのリーダーシップを発揮できる基礎知識の習得が第一です。(保健委員在席20年・委員長2期)

当日比津学区は伝統的に保健委員会活動が活発で、基本的な任務である保健所業務・環境事業所業務には、かなり意欲的且つ積極的に取り組んでいます。しかし、基本的業務の一つである環境保全業務となりますと地域にあって何を指し何をすべきかが、今一つ明確でない上に行政側の教育も散発的でモデル事業とか講演会程度でした。その一例ですが最近の企業ゴミの有料化に伴ってドラム缶程度の焼却炉が、増えています。これが合理的なものかどうかを判断できないもどかしさがあります。エコライフにしても、一過性でなく地域に定着して初めて効果を発揮するものであると思います。

従って、それらの疑問と問題解決を少しでも理解すると同時に名古屋市が何を目指し、都市としての環境保全とはいかに有るべきかを把握、その重点テーマの模索と定着への糸口を見つければ幸いです。

ゴミ問題については、区連絡協議会挙げて取り組んで頂いています。週2日のそれぞれの不燃・資源の回収日には、各会場で指導に当たっていますが実施以来、約一年を経過しているのに今だにやめる事ができません。それらの指導者の共通な言い分は『企業内では忠実にゴミ問題に対応している若者が地域にあっては全くの無分別、そしてずるいご老人と我関せずのマンションの住民』です。『今こそゴミコミュニケーションの実践を』と説いてはいるものの、言っている本人も心許無いのが実情です。真正面から取り組むのにどのようにすればよいのか・・・本コースに出席し、自分の気持ちを一度リフレッシュしてみたいと思いました。

散文的で恐れ入りますが、今回のテーマは資源回収団体長の立場より保健委員長としての立場のほうが、興味をそられました。特にテーマからいって保健委員の必修科目?と思います。

以上が動機です。

～と、第一期生に名を連ねたい一心で書いた事が思い出されます。

今でも保健委員会に『なごや環境塾』への誘いが無いことは不思議に思っています。もし当時、私が資源回収団体長をしていなければ、“もっと2”での出逢いも(環境に興味を持った私も)なかったと思うと“ご縁!”というものにすごく数奇なものを感じると同時に感謝をもっています。お陰で『市の保健委員会』でも環境問題での多言居士として名を轟かしています。(想像できるでしょう)

最近、「う。うんん～・・・!」と私なりに、この5年間で余り自覚していませんでしたが、環境問題でかなり成長したもんだと実感した出来事に触れてみたいと思います。

現在、名古屋市が『もういちど!』井戸端会議と名付け、ゴミ減量で培った220万市民パワーを地球温暖化対策に発展させたいという運動を展開しています。それは、保健所職員が中心になり地域の各種団体等に、地球温暖化の解説を伴った行動メニュー20項目の[エコライフチャレンジシート]を配布。参加者に実行できる項目を宣言して頂くものです。このシートが市民版の環境への切り口として『非常に分かり易くよく出来ている』と『評価』し、あまつさ急増講師の保健所職員のサポーターまでかってでている(迷惑にならない程度に。ウフフ)自分に気付いた時のことでした。



このように私なりに知らず知らずの内に理論武装ができ上って、自分なりに環境問題に携わってられるのは“『なごや環境塾』と一連の流れ『もっと2』”の皆さんのお陰です。この5年間、年齢差をいとわず育ててくれましたグループメンバーに改めて感謝・感謝。です。

さて、今年は“2兎を追うもの”の諺に、はまらないようエコ・SEEDとの両立を『犬・犬・学!学!』仲良く頑張りたいと思っています。

220万市民の「もういちど！」大作戦 みんなでへらそうCO2

名古屋市の地球温暖化防止に向けた取り組みを紹介します。

環境首都をめざす名古屋市はCO2の10%削減を達成することを目標に、少ないエネルギー・資源で豊かな生活を守る工夫を続けることにより、少しでも良い地球環境を次世代へ引き継いでいくことを目指しています。これが、220万市民の「もういちど！」大作戦 みんなでへらそうCO2です。

ここでは、できることから少しずつエコライフをはじめようと提唱し、エコライフチャレンジシートやエコライフ宣言カード・もういちど井戸端会議・もういちどミーティングなどがあります。エコライフチャレンジシートは、減らせるCO2の量がごみ袋の数で一目でわかり、「節約できるお金」もわかるものです。最近、「もっと2」もキッズISOプログラム「地球温暖化」で紹介しています。

「地球温暖化」をくい止めるために、わたしたちができることを歌にしたエコソングは、エコパルなごやのHPから歌の歌詞や振り付けがダウンロードできます。なんと作者は、ご存じあのMさんですよ。

エコパルなごや エコソング URL <http://www.ecopal.city.nagoya.jp/corner/manabu/ecosong.htm>

エコソング みんなでへらそうCO₂

作詞・作曲・編曲 森本 章夫

ちょっとそこまでどちらまで 交通きかんで行きましょ
バスのって・電車のって・そこまで歩いて みんなでへらそうCO₂
みんなで公園行きましょ それなら自てん車こぎましょ
右みて・左みて・もういっぺん右みて ぼくらがへらそうCO₂
家ぞくで買いもの行きましょ 買いものぶくろをわすれずに
バスのって・電車のって・そこまで歩いて みんなでへらそうCO₂
右みて・左みて・もういっぺん右みて ぼくらがへらそうCO₂ みんなでへらそうCO₂



今までありがとうございました

K.F

既にご存じの方も多いかと思いますが、昨年5月に主人が東京の本社に転勤になり、11月末に私とRINAも古巣の横浜の社宅に転居しました。一昨年から昨年にかけて、「もっと2」の活動にまったく参加できず、申し訳なく思うと同時に淋しく感じていたのですが...参加できないままの転居となってしまい...とても残念です。(>_<)。当初は3月まで名古屋にとどまるつもりだったのですが「早く！」と言う会社からの指示と、学校の授業内容にかなり違いがあったので早く慣れてお友達を作るために転居を早めました。

思い起こせば...私が環境塾の講座を受けるきっかけになったのが自作の「ごみの分別リスト」だったのですが、横浜から名古屋に転居して「どうせまた転勤があるから...」と「お友達付き合い」に消極的だった私が「ごみの分別」について投稿したものが新聞にのり...中部リサイクル運動市民の会発行の雑誌と出会ったことがリストづくりのきっかけでした。それゆえ環境塾でみなさんと語り合えたとき、「この出会いを大切にしたい」と強く思いました。そんな私にとって「もっと2」の活動に参加できることは、この上ない幸せでした。(^-^)。いつかまた転勤しなければならないと覚悟はしていましたが、やはり、お別れはとてつらいもので、一昨年主人が「転勤が近いかも」と言った途端に、「もっと2」の活動に参加することが辛くなってしまい...仕事等で忙しいのを「いいわけ」にして足が遠のいてしまったのも事実です。こんな中途半端で優柔不断の私を仲間として認めて下さった皆さん、いままで本当にありがとうございました。m(_)_m。

おもしろいことに私が名古屋に転勤した頃から名古屋の「ごみ減量対策」がはじまったように、横浜の「ごみ減量対策」が昨年の4月から始まり、区役所で転入手続きをした際に頂いたパンフレットに「ごみの分別リスト」がついていて...私と「ごみの分別リスト」は切っても切れない関係なのかもしれません。(=^ェ^=)。

そこで少し横浜の分別方法を紹介すると...。「もえるごみ」「ビン・缶・ペットボトル」「プラ容器」「小さい金属」「電池」を毎週横浜市が回収しています。「古布」「古紙」「ダンボール」「紙容器」を各自治体が集団回収をしています。とくに私の住む町内は資源回収を毎週行っているのが名古屋にいる時よりも便利になりました。V(^-^)^。特徴的なのが、もえるごみにはリサイクルの対象とならないプラスチック製品(例えばおもちゃなんか)も含まれるので、生ごみとプラスチックのおもちゃを一緒の袋に入れてだすんですよ！「ビン・缶・ペットボトル」もひとつの袋にまとめてだします。回収後の処理過程で分別するからなんですけど。横浜でこの分別がスタートするまでは「ビン・缶・ペットボトル」くらいしか分別しておらず、その他のごみは一緒にだしてしまっていたので、昨年度の減量効果はかなりのものだったようで、着実に目標にむけてがんばっているところです。

私も転勤してしばらくは専業主婦をしていたのですが、現在再就職のためのIT講習を受講するために毎日渋谷に通っているのですが東京、川崎のごみ事情の違いがわかって結構興味深いですよ。o(^-^)^o。

去る、2月11日(土)名古屋市立大学山の畑キャンパス内で、アイセック(*1)名古屋市立大学委員会のメンバーによるイベントが行われました。

企画の背景には、『社会のさまざまな問題には、いろんな“つながり”が広がっていくことが必要。でも、学生の社会参加はまだまだ少なく、地域の中で何が起きているのか、何が出来るのか、何を求められているのかが見えていない。社会に対して行動が起こせるように、地域の一員であることを自覚して、何が出来るのかを考えることが必要だ』と考えた学生と、地域で活動している人が“つながり”について考えるきっかけとなるように企画されたそうです。また、社会に向けて取り組みを行うときに、生まれる社会のつながりを“Community Service”と呼んでいるそうです。

私も、地域で環境問題を広げるためには、いろんな“つながり”を無視する事は出来ないと考えていました。“いのちのつながり”“知恵のつながり”“人と人のつながり”“物質のつながり”循環させるという事は“つながり”を大切にするという事だと思います。そんな思いと、学生さんたちの思いに共通点を見つけ、イベントへの参加を決めました。

この日は、今までの3回の取り組みについての締めくくり。

外部講師として参加したのは、私のほかに、グリコン瑞穂区チーム、藤前干潟を守る会、リサイクル推進センターの計4名でした。それぞれの活動や業務とのさまざまなつながりをインタビュー形式で話しました。その後、4つのグループに別れ、ワークショップを行いました。

テーマは、ごみ問題 川の汚染 地球温暖化 美化問題。それぞれのテーマに沿った架空の問題を提示し、行政、NPO、市民、企業などの登場人物になって、問題解決のために何が出来るかを話し合いました。そして、最終的に市民という立場で、何が出来るかを考えることになっていました。

私は、学生さんたちを自分たちに出来ることというより、自分たちのやりたい事を考えてばかりで、学生という枠を作ってしまうと、好きなように活動しているとばかり誤解していました。でも、今回、学生という立場だけでなく、就職したり、結婚したり、違う立場で社会の一員になったときのことも考えて、何が出来るかを考える姿には感心し、私も、今の自分に何が出来るのかを問いかけるいい機会になりました。

市民らしく、主婦らしく、母親らしく、環境問題を考えるきっかけを作ってきたつもりですが、これからも、“つながり”を大切に、周りのいろんな立場の人とも、もっと分かり合って活動できたら良いなあと思いました。それが伝えたい事を伝えるために、一番大切なことだと思うから。

(*1)アイセック………1948年に設立。海外インターンの運営を主幹事業としている世界最大の学生団体。メンバーや研修生が「インターン」や「国際理解」という経験を通じ、国際社会で活躍できる人材を育成する事を目指している。理念は【平和で人々の可能性が最大限発揮できる社会】

お知らせ掲示板

- ・ 4月定例会 4月15日(土) なごやボランティアNPOセンター フリースペース 13:30~15:30
 - ・ 2006年総会(5月定例会) & 愛・地球博報告会 5月7日(日)
なごやボランティアNPOセンター 集会室 13:30~16:30
 - ・ 6月4日(日) 「カンちゃんのダメダメ日記」 上下水道局イベント 鍋屋上野浄水場
- * 以上、参加者募集中。詳細は、Aまでお願いします。

編集後記

春本番。日差しも暖かくなり、野外で過ごすのが気持ちのよい季節です。自然観察から身近な環境への取り組みを始めるのも大切な一歩でしょう。

温暖化防止にむけてエコソングを園児たちが元気よく踊りながら歌っています。これもできることへの第一歩になってほしいと思います。

メンバーの近況を知るたびに、「もっと2」の過ごした年月を感じます。さあ、総会を機にまた新しいスタートです。

(BY ドクダー)

